

2019.9.20

こんにちはわ〜るど

No.71

半田国際交流協会だより

7月7日 日本語教室で 「七夕」を紹介しました

日本語教室の中で、七夕の紹介をしました。それぞれ願いごとを書いた短冊を笹に飾り、皆で「たなばたさま」や「幸せなら手をたたこう」を歌いました。

I hope I can learn Japanese language fast

私の会社の仕事がいっぱいになります

希望我能在日本取得我想要的东西

私の家族はいつもお元気で

おかげがいっぱいかせぎたいです

日本の生活をがんばれますように

幸せになりますように

日本人と話せるようになりますように

面親が元氣なように

幸せな家族



半田市の姉妹都市

Midland

ってこんなところ

アメリカミシガン州ミッドランド市に本社を持つ、世界最大の化学会社の一つ、ダウ・ケミカル社が1981年に半田市に工場を建設することをきっかけに、姉妹都市提携を結び、今日まで続いています。ミッドランド市は、北海道とほぼ同じ緯度に位置し、冬はとても寒いですが、緑にあふれた美しい街です。この姉妹都市の交流の大きな柱が、毎年交互に生徒を送る高校生交換プログラムです。今年も3人の高校生が半田を訪れ、楽しい3週間を過ごしました。



▲ミッドランドの図書館には姉妹都市提携時の写真や、半田市や半田国際交流協会からの記念品が飾られています



ミシガン州ミッドランド市
人口:約4万2千人

3つの橋がつながる
Tridgeと呼ばれる橋



ミッドランドとの姉妹都市関係にご尽力いただいている、名古屋出身ミッドランド在住の河北常晴さんが、ご自身の海外経験について書いた本を出版されました。タイトルは「GOING GLOBAL BEYOND JAPAN AND THE U.S.」です。在米年数が日本で過ごした年月より長くなった河北さんが、退職を機に、より広い国際社会に関わりたいと、国連ボランティアに参加して滞在したアジア諸国での生活の様子が中心ですが、英語での付き合い方や、人としての生き方も書かれています。アメリカの読者を意識して書かれた本なので、基本的に英語で書かれていますが、適所に日本語が挿入され読みやすくなっています。大きな書店やアマゾンで購入可能ですので、国際交流に興味のある方は是非読んでみてください。

姉妹都市のアメリカ ミッドランド市とは、1981年6月の姉妹都市提携の翌年から、相互に高校生を派遣し合っています。今年は受入れの年で、7月20日から8月9日の3週間、3名の高校生がそれぞれ3家庭にホームステイし、日本の文化・習慣を学びました。

Luca Jolly



プログラムは、どうでしたか？

とても素晴らしい時を過ごし、本当に人生を変える経験になりました。また戻ってくる日が待ちきれないです。

このプログラムに参加する前、日本についてどんな印象を持っていたか？

その印象は滞在して変わりましたか？

日本には、とても特異で重要な文化があると知っていて、それを学ぶことにとっても興味がありませんでした。素晴らしい文化を見て実際に経験したという点で、印象は強くなりました。

日本の生活で、慣れるのが難しかったことは？

時差ボケに適應するのが一番大変でした。

食べられなかった日本食はありますか？

どんな食べ物も食べるのに困りませんでした。

もう一度食べたい日本食は？

うどん、ラーメン、手羽先、たこ焼き



Abigail Hnizda



プログラムは、どうでしたか？

私は、受け入れていただきとてもうれしかったですし、別れがとても悲しかったです。ホストの家族たちとの絆を決して忘れないでしょう。そして、ホストの人たちのことや日本について、アメリカの人たちに話すという大使としての役割をこれからするつもりです。

一番心に残る日本での経験は？

ひとつを挙げることは難しいです。正直に言えば、どんな美しい神社や花火より、ホストの家族と話しながらかつた時間の方が楽しかったです。彼らと繋がったこと、両国の文化について一緒に学べたことがうれしかったです。私は特にホストのお母さんたちが、一生懸命に私を居心地良く気遣ってくれたり、私とコミュニケーションをとろうとしてくださったことが心に残りました。

食べられなかった日本食はありますか？

私はタコ、刺身やあさりなどいろいろと食べてみるのが怖かったです。でも私はそういう食べ物が大好きになりました！！



もう一度食べたい日本食は？

タコ、たこ焼き、たい焼き、だんご、そして抹茶味はなんでも美味しかったです！カルピス、あんぱん、ポッキー、チョコレートの入ったクラッカー、塩ラーメン、手羽先、いろいろなお茶やデザート。家族のために、たくさんのお菓子と茶道のセットを持って帰りました。

Deborah Lehman



プログラムは、どうでしたか？

やりたいと思っていたことが全てできたし、それ以上に多くのことを経験できました。全てのホストファミリーが歓迎してくれました。家の中でアメリカ人が自分だけという状況は大変だったけど、おかげで成長したし、多くを学べたと確信しています。みなさんとお会いして一緒に時間を過ごせて、心からよかったと思っています。また絶対に日本に来たいです。

興味深かった経験は？

私は文化がどのように人の判断基準や信念に影響するかに、とても興味がありました。なので、直接体験したり触れたりできて良かったです。日本の高校生との活動はどれも楽しかったです。国が違うだけで、彼らも私たちと同じ悩みを持っています。私が出会った高校生はみな熱心で感じのよい人ばかりでした。シャイな面もありますが、一生懸命話そうとしてくれました。

食べられなかった日本食はありますか？

納豆以外は食べられないものはありませんでした。また、アメリカ人は生卵を食べないので、安全だと分かっているけど、卵を生で食べることは抵抗がありました。

もう一度食べたい日本食は？

絶対にまた食べたいものは、かき氷、たこ焼き、カレー、お好み焼き、みそ汁です！アメリカで食べているお米よりも日本のお米の方が好きです。



榊原ファミリー

私(母)がアリアナグランデの曲が好きで、車内でいつも聴いていたのですが、ルカも好きだと分かり、移動中の車内では子どもと一緒に歌いながら盛り上がっていました。カラオケに行った時には一緒に歌うことができ、その後レンタルショップへ行って、彼女のおすすめの曲の入ったCDを借りて覚えています。また一緒に歌いたいねと話しています。



尾前ファミリー

女の子1人の受入れは初めてなので、不安もありましたが、ルカの顔を見たらすぐに不安は解消されました。とても明るく元気そのもの、笑顔がとっても素敵な女の子だったからです。長島スパーランドのウォーターライダーはノリノリで終始興奮状態。90分待ちも嫌がることなく、結局2回乗りました(笑)。子ども2人と趣味のタップダンスが同じだったことも奇蹟のようでした。3人で練習して、送別会で披露することができました。国際交流の良さを改めて感じる夏になりました。



都筑ファミリー

「日本の病院が見てみたい」という要望があり、私の職場へ見学に来てくれました。日本とアメリカのシステムの違いにビックリしていました。娘がルカに影響を受け、宿題の自由研究で、半田市とミッドランド市の違いについてルカにインタビューして、まとめていました。私にとっても、家族にとっても、貴重な1週間になりました。



那須ファミリー

アビゲイルはアニメや芸術が好きで、我が家もどちらかというと絵や創作が好きなので、一緒に美術館へ行ったり色々創作したりしたことはとても思い出になりました。佐久島では、暑い中歩いて回り、皆疲れはてたけど、後でコナンの映画の一場面として使用されたことを知り、良い記憶になっていることと思います。



一柳ファミリー

日本に来て初めて電車に乗って、若者にもアニメ好きにも人気の、大須へ行きました。日本語の書かれたTシャツを買ったり、初の“タピオカドリンク”を飲んだり、食べたいと言っていた“たい焼き”を食べたりして、一緒に楽しみました。アビゲイルが強く願望しメイドカフェに行きました。お店の雰囲気や可愛らしいデコレーションパフェなど、とても気に入ったようで、日本の独特な文化も楽しめたようです。



榊原ファミリー

1週間すべてが思い出となりました。家でのパーティーでは少し緊張はしていましたが、大好きなマンガの絵を書いてくれました。帰る1日前には料理を作ってくれたり、持って来たお土産を1つ1つ説明しながら渡してくれ、気持ちが伝わってきました。空港での見送りでは私も涙が出て、アビゲイル~と言ったらアビゲイルも泣いて抱き合いました。本当の娘のように可愛く、人と人とのつながりに感謝しています。



杉田ファミリー

我が家はインドアで過ごすことが多いのですが、デボラと様々な場所に出向いて五感を使った体験をすることができました。1週目の3家族が集まり、扇子の給付けやたこ焼き、カラオケを楽しんだ1日は、特に盛り上がりました。初体験のカラオケにとってもはしゃいでいて、会話するときの大人っぽい雰囲気とのギャップが可愛らしかったです。積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちがよく伝わり、1週間という滞在期間にもかかわらず、昔から知り合いだったように感じました。



蜷川ファミリー

英語の苦手な私たちのコミュニケーションには、2枚のホワイトボードが必須アイテム。スペルや絵をかき合い、時には図表や楽譜まで。毎晩の大爆笑ディスカッションが楽しくて、気づくと夜遅い時間、ということもしばしば。何にでも一生懸命で、忍者修行や海水浴なども、張り切って楽しんでくれました。今には心にぽっかり穴があいたような寂しさです。



竹内ファミリー

こちらの思いを理解しようと、何度も聞き直してくれたり、ゆっくり話してくれたり、優しく思いやりのある彼女。アメリカの生活、家族、学校、日本との違い等色々教えてくれました。夕食後は、トランプ、絵しりとり、折り紙、花火等をして楽しく過ごす日々でした。大須、西尾を観光したり、浴衣を着て岡崎の花火を見に行ったりしました。素敵な娘が一人増えた楽しい一週間でした。



Midland 高校生の3週間 (公式行事)

こんにちはわーるど No.71

セントレア到着
7/20



市長表敬訪問・
市内見学・歓迎会
7/22

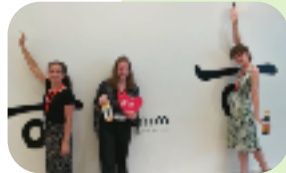


帰国
8/9



また
会おうね!

MIIM見学、小栗家住宅でお抹茶体験



ホストファミリーの交代日

8/2

8/1

半田ロータリークラブ
例会に出席

高校生交流会
8/5



半田東高校などの高校生と、
英語でゲームをして交流



グループで
リニア・鉄道館を見学

7/26

ホストファミリーの交代日



歓迎会

送別会
8/8



歌を披露

京都見学
7/29



金閣寺、伏見稲荷、
三十三間堂などを見学

おかえり! Mioさん

2011年に半田-ミッドランド市高校生交換プログラムで、3週間半田市に滞在したEmily Bischoff(ニックネームMio)さんを覚えていますか? アメリカにしながら日本語検定1級取得、中国語にも堪能で、現在ミッドランドでシンガーソングライターとして活躍しています。その彼女が友人2人と今年5月、北は北海道、南は鹿児島まで、各地で路上ライブを行いながら、35日間日本縦断旅行をしました。その途中5月20日、名古屋にも来てくれてナナちゃん人形のそばで歌い、半田の人とも会うことができました。10年たっても日本、半田を忘れず、つながっていてくれる彼女に感謝です。



2019



2011



入場無料

こんにちはわーるどフェスティバル ~世界の人たちとあそぼう!~

日時 10月20日(日) 10:00~15:00
場所 半田赤レンガ建物

各国の交流ブース、
ステージイベントなど、
楽しい催しがいっぱい!



半田国際交流協会にご入会ください!

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
	法人会員(1口 5,000円)	
	・従業員数 1名~29名	1口以上
	・従業員数 30名~49名	2口以上
	・従業員数 50名~	4口以上

申込先: 半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
TEL: 0569-26-1929 FAX: 0569-26-1992
E-mail: hia@poplar.ocn.ne.jp
HP: http://www.handakokusai.aichi.jp

発行/半田国際交流協会 半田市雁宿町1-22-1
TEL: 0569-26-1929 FAX: 0569-26-1992